

日本ボーイスカウト北海道連盟だより No. 138



斧の響き



平成22年 連盟長 年頭所感



ボーイスカウト北海道連盟

連盟長 北海道知事 高橋 はるみ

新年明けましておめでとうございます。道民の皆様とともに新しい年を迎えることができましたことを、大変うれしく思っております。

私が再び道政を担わせていただいてから、三度目の新春を迎えました。皆様には、平素から道政各般にわたり、深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国政では、八月の総選挙により政権が交代し、本道選出の鳩山総理の誕生、新内閣の発足という、大きな出来事がありました。

本道では、一昨年の北海道洞爺湖サミットに続いて「太平洋・島サミット」が開催されたほか、「ねりんピック北海道・札幌2009」では、全国のシニアの方々がスポーツや文化に技を競われ、地域と世代を越えた交流の輪が広がりました。道民の皆様にご協力をいただき、多くの方々を温かくお迎えできたことに、改めて感謝を申し上げます。

道政においては、世界同時不況の影響などによる厳しい経済情勢への対応が大きな課題になったほか、新型インフルエンザの流行や冷湿害等による農業被害の発生といった課題にも直面した一年でした。景気や雇用の回復に向けて、切れ目のない対策を講じるとともに、次々と生じた課題に、関係者の方々とともに懸命に対処するなど、道民の皆様の暮らしを守るため、全力を傾けてまいりました。

景気後退の影響を受けた一年ではありましたが、一方で、全国で開催された北海道物産展の盛況や、道東地域を舞台にした中国映画の大ヒットと中国人観光客の増加など、食や観光

をはじめ、北海道ブランドの国内外への着実な浸透がみられました。また、農商工連携や新エネルギーの導入の取組が各地に広がるなど、未来への展望を開く、力強い動きも数多くありました。

今、我が国は歴史的な転換期を迎えています。国政においては、政治主導や地域主権国家への転換を目指した大きな変化が生じ、また、国、地方を通じて持続可能な財政構造の確立は、待ったなしの状況になっています。一方、世界に目を向けると、中国やASEAN諸国など、経済成長を続けるアジア地域との結びつきの一層の強化や、地球規模での課題である低炭素型社会への転換が求められています。

こうした転換期は、新しい飛躍へのチャンスであり、今こそ、変化の風をとらえ、大胆な発想と果敢な行動で、北海道のもつ可能性を大きく開花させていくべき時であると思います。

そのためには、これまでの取組の成果を礎として、道民の皆様と手を携えながら、高い食糧供給力や優れた自然環境などの「北海道価値」を一層高め、広げるとともに、地域の創意と主体性が存分に発揮され、地域が輝く地域主権型社会の実現に向け、大きく前へ踏み出していくことが必要です。

さらに、少子高齢化や過疎化など、全国の地域が抱える共通課題の克服に向けて、北海道が先駆的な取組を進めることで、地域再生のモデルとしての役割を果たしていくことができると考えています。

私としては、この一年を、本道の景気回復を本物にし、誰もが安心して生き生きと暮らせる社会づくりを進め、創造と挑戦の精神で北海道を新たな発展の軌道へ乗せる確かな歩みの年にするため、全力を尽くしてまいります。

新しい年が、皆様にとりまして、希望あふれる年になりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

北海道・東北ブロック協議会年次総会開催される！

平成21年度日本ボーイスカウト北海道・東北ブロック協議会年次総会が、平成21年10月24日（土）～25日（日）札幌市定山溪温泉の鹿の湯ホテルにおいて、東北6県及び北海道から理事長、県コミッショナー及び事務局長並びに高橋直克日連教育本部員の出席により開催された。

日本連盟からは新藤信夫常務理事と茂木達郎事務局次長が来賓として出席された。

また、地元からは北海道連盟副理事長、常任理事3名及び道連盟副コミッショナー3名がオブザーバーとして出席した。

開 会	国旗儀礼
あいさつ	加藤ブロック協議会長（山形県連盟理事長）
歓迎挨拶	長岡北海道連盟理事長
来賓挨拶	進藤常務理事（日本連盟）

報告・決算関係

- 1) 平成21年度ブロック協議会事業・収支報告について
- 2) 平成21年度道・県連WB研修所開設状況について
- 3) 日本連盟関係事項
 - ① 理事会報告・・・茂木事務局次長
 - ② 教育本部会議報告・・・高橋教育本部委員
 - ③ 中央名誉会議報告・・・江尻中央名誉会議員
- 4) 3HTCの決算について（青森県連盟梅津事務局長）

協議事項

- 1) 平成22年度ブロック協議会事業計画（案）・予算（案）について
- 2) ブロック協議会役員改選について
 - ブロック協議会相談役の郷家照夫氏及び和田伸幸氏両氏は相談役勇退
 - ブロック役員

会 長	：	加 藤 光 洋 氏（山形県連盟）・・・再任
副 会 長	：	長 岡 正 彦 氏（北海道連盟）・・・再任
監 事	：	葛 西 堯 氏（青森県連盟）・・・再任
事 務 局 長	：	野 村 正 博 氏（山形県連盟）・・・再任
 - 北海道・東北ブロック日本連盟役員

理 事	：	郷 家 照 夫 氏（宮城県連盟）・・・再任
教育本部委員	：	高 橋 直 克 氏（北海道連盟）・・・再任
中央名誉会議議員	：	四 家 博三郎 氏（福島連盟）・・・新任
 - 北海道東北ブロック 評議員会世話人

世 話 人	：	内 宮 眞 氏（岩手連盟）・・・再任
-------	---	--------------------
- 3) 平成22年度研修所開設（予定）について
 - BVS課程北海道第14期（北海道連盟）
 - 団運営研修所北海道第11期（北海道連盟）
 - BVS課程又はCS課程（青森県連盟）
 - 団運営研修所秋田第2期（秋田連盟）
 - BVS課程福島第6期（福島連盟）
- 4) ブロック協議会当番県について
 - 青森県連盟

- 5) その他
- 4 H T C の開催について
 - ・ 当番県・・・山形県
 - ・ H T C の定期開催について各県連で検討する。
 - ブロック協議会事業年度呼称の変更について
 - ・ ブロック協議会総会の時期を起点とする。

情報・連絡等

- 1) 平成22年度開催「第15回日本ジャンボリー」について
- 従前のSHQ体制が廃止され、すべてJHQに統合される。
 - チャイルド・プロジェクション（児童保護）制度の確立
 - 場外プロ（6種）・場内プロ（2種）を全員がローテーションで挑戦。
- 2) 平成22年度全国大会について
- 開催地は静岡市
- 3) 新型インフルエンザ対応について
- 4) その他
- 日本連盟の公益法人移行について
 - ・ 検討経過の中間説明

分科会

理事長部門

コミッショナー部門

事務局長部門

第51回全道スカウティング研究協議会開催される

第51回全道スカウティング研究協議会が定山溪温泉定山溪グランドホテルにおいて、全道各地より75名が参加し開催されました。

テーマは、一昨年に開催された世界スカウト運動創始100周年を記念し、これからの100年に向けた北海道連盟の活動方針についてのテーマを基に議論された流れに沿って設定されました。

「見つめよう“今“を！ 考えよう “明日”を！」
～広めよう！ス～カウティングの楽しさをみんなに～
＝われわれは何をなすべきか！ 起こそうアクション＝

“より良いスカウティングを、より多くの子どもたちに” 提供するため、運動創始100周年記念の第49回全道研では、ベンチャースカウトの公開フォーラムをもとに、「101年目のスカウティングを目指して」、101年目を迎えた昨年の第50回全道研では、「Yes, We can Change～我々は何をなすべきか本音で語ろう！～」のテーマで語りあいました。

51回目を迎える「全道研」では、“基本原則”をもとに現実の諸課題を見つめ、明日に向かってどうあるべきか、何をなすべきかを具体的に研究協議を深めます。
を骨子として開催されました。

記念講演は、ふるさと再生塾塾長である小山忠弘氏（前札幌国際大学学長）が、「地域の教育力と少年団活動ー今、ボーイスカウトは何をなすべきかー」をテーマとして1時間30分にわたって行われました。

1. 家庭、地域の変容と子供への影響 → ボーイスカウト指導者には、子供の姿が見えているか

- (1) 家庭をめぐる状況
- (2) 地域社会をめぐる状況
- (3) 困難な状況にある家庭

2. 地域の教育力と少年団活動 → ボーイスカウト指導者は、地域の教育力を理解しているか

(1) 地域の教育力とは（人間関係力であること）

本来の地域社会＝大人が子供とともに生活し、子供は親や住民の生活を眺め、家庭や地域社会の構成員として何らかの役割をもって行動している。家庭や社会の人間関係に順応したり反発したりする中で、行動能力、モラル、生活感情などがはぐくまれる機能を果たしていた。

● **地域の教育力の要素とは**

- ① 社会規範力
- ② 生活体験力
- ③ 地域集団力

ボーイスカウトに所属している子どもたちに、リーダーとしてどういう感化を与えているかが問題

(2) 少年団体活動（ボーイスカウト）の課題は何かを把握しているか

- ① ボーイスカウト運動の歴史的役割と現代的役割を認識しているか
- ② 指導者（隊長）として、適正な役割を果たしているか
- ③ 少子化という現象だけでなく、なぜボーイスカウト活動に魅力を感じて入団してこないのか

(3) これからのボーイスカウト活動の視点とは

ボーイスカウトの地域社会における認知度を高め、団員のアイデンティティ（社会的な位置づけ）を高める。

家庭においては親が、学校においては先生が、地域社会においては大人が、国においては政治家が、未来社会に生きる子どもたちのモデルとなるような生き様を示さなければならない。

指導者であるあなたは今、過去に自分が学んだボーイスカウトのイメージのままで、自分の経験し成功した良い時代の思い出の中で、団員の育成に当たっていませんか？
つまり、今の子どもたちという新しい酒を、自己変革が出来ない指導者という古い革袋に入れてスカウト活動をしていませんか。

見つめよう “今を“ 考えよう “明日の自分の姿を“

=グループ討議=

第50回全道研で「我々は何をなすべきか本音で語ろう！」のテーマで語りあった課題と各地区コミッショナーから提示された課題をもとに、“今をみつめ”この課題を解決して“明日を考え”“何をするのか・何をなすべきか”より具体的に建設的な討議を深める。

グループ & テーマ

- A 楽しい魅力あるスカウティングを進めるために「GB教育・指導のあり方」
 - B スカウト技能向上のあり方
 - C VS (RS) の育成・活性化
 - D 保護者の協力・理解を求める活動
 - E 地域社会と連携したスカウティング
 - F 発達障がいのある子供を受け入れ（支援）する活動
- 特別 下田豊松先達からボーイスカウト運動の原点を学ぶ

=報告&提案=

組織拡充を果たしている団の実践報告が《札幌第1団》・《釧第6団》からなされました。両団とも団の構成事情と地域の背景に対しての幾多の課題に対応しながら、現状を確立している苦勞が披瀝されました。

=全体会=

上記の事柄を基として全体会が行われ、小山忠弘先生には引き続きアドバイザーとしてご参加いただいた的確なアドバイスを頂きました。

ご報告

全道研会場で、参加の皆さんにご協力いただきました「ボーイスカウト
真狩野営場整備資金」は、26,758円のご協賛をいただきました。
ありがとうございました。

編集後記

今年もこの全道研に参加された方々には、非常に多くの得るものがあったと思います。
情報とは、それを得た人が、その内容を十分咀嚼して、それを生かすことによって情報と
なるものと思います。

聞き流しただけでは、情報でも何でもないものです。

※ 参加された方々の自分自身の情報とすることは勿論、参加されなかった同じ仲間の人たち
にもこれを伝え、今後のスカウティングに生かされることを編集担当者として期待いたし
ます。
(広報担当 西岡記)



新春誌上名刺交換 2010

あけましておめでとうございます

謹賀新年

日本ボーイスカウト北海道連盟

副連盟長 鎌倉 伯男

謹賀新年

日本ボーイスカウト北海道連盟

理事長 長岡 正彦

新春弥栄!

日本ボーイスカウト北海道連盟

副理事長 三国 久介

ボーイスカウト北海道連盟
コミッショナーグループ

コミッショナー 扇間 康弘 (札幌 10 団)

副コミッショナー 今井 建 (札幌 1 団)

副コミッショナー 高木 康 (室蘭 4 団)

副コミッショナー 飛鳥 慶子 (滝川 1 団)

謹賀新年

財団法人ボーイスカウト北海道連盟維持財団

理事長 鎌倉 伯男

常任理事 吉田 源彦

事務局長 上野 隆

迎春

学識経験者理事 (総務担当)

高橋 忠義

新春弥栄

学識経験者理事 (スカウト担当)

北野 和

本年も研修へ積極的なご参加を!!

学識経験者理事 (リーダー担当)

池田 君松

恭賀新年

学識経験者理事 (プロジェクト担当)

菊地 一泰

祝新春

望 少壮気鋭の士

願 老成自重の支え

学識経験者理事 (広報担当)

西岡 浩

室蘭第4団 副団委員長

本年もよろしくお願ひいたします

北海道連盟事務局一同

あけましておめでとうございます

胆振地区

—地区役員—

地区協議会会長	滝口信義
地区協議会副会長	斉藤勉
地区委員会委員長	佐藤庄吉
伊達第1団団委員長	辻正博
室蘭第1団団委員長	高橋忠義
室蘭第4団団委員長	田中洋一
室蘭第6団団委員長	斉藤勉
登別第1団団委員長	菅野正一
苫小牧第2団団委員長	小保方伸一
地区コミッショナー	村中啓子
地区副コミッショナー	木原靖之
地区事務長	小笠原貢
地区事務次長	浅井久美子
地区会計	佐藤公英
地区監事	佐藤勉
地区監事	鷺沢義則

—北海道連盟役員—

地区選出理事	佐藤庄吉
学識経験理事	西岡浩
学識経験理事	高橋忠義
道連副コミッショナー	高木康
名誉会議議員	米澤健
相談役	高田道夫
参与	大沼勝美
参与	塩谷眞守
参与	佐藤公英
盟友	藤森立城

事務局 〒050-0065 室蘭市本輪西町3-22-12
電話 (0143) 55-2876

輝かしい2010年の新春をお祝いいたします
ボースカ関係者ご一同様の益々の称栄をお祈りいたします

石狩地区協議会長	箱島 盈
石狩地区委員長	小林 幸治
石狩地区コミッショナー	喜多 英司

謹賀新年

旭川地区

協議会長	松倉 信乗
副協議会長	野村 治正
副協議会長	宮内 紀代志

委員長	高橋 明
副委員長	山口 淳
野営行事委員長	山口 淳
組拡広報委員長	由良 和喜
リーダー委員長	町田 清
野営場運営委員長	天満 昇
財政委員長	仙座 猛
会計	金沢 俊寛
事務長	浅野 玲子
監事	佐藤 達夫
監事	牧野 哲夫

コミッショナー	村上 政義
副コミッショナー	宮澤 多佳子
副コミッショナー	西能 由理子
副コミッショナー	杉田 肇

新年！弥勒！！

留萌地区

留萌第1団 団委員長	櫛井 二三夫
留萌第2団 団委員長	下田 満
羽幌第2団 団委員長	小寺 克彦
秩父別第1団 団委員長	寺迫 公裕
稚内第2団 団委員長	前田 義彦
地区協議会長	櫛井 二三夫
地区委員長	三国 久介
地区コミッショナー	小笠原 祐治

賀 春 札幌地区

地区協議会長	鎌倉 伯男
地区副協議会長	川越 道生
地区副協議会長	藤田 一男
地区委員長	北野 義城
地区副委員長 (総務・組括)	北 秀継
地区委員 (組括・広報・特命)	中本 亨
地区委員 (財務・会計)	川越 道生
地区委員 (指導者確保・養成)	菊地 一泰
地区副委員長 (野行・進歩)	藤岡 順正
地区委員 (進歩・野行・特命)	稲葉 一成
地区委員 (健康安全)	徳永 教好
事務長	後藤 恭子
野営場管理委員長	北野 和
同 副委員長	畠山 英昭
同 副委員長	陰能 裕一
団委員長会議議長	菊地 裕幸
監 事	三澤 薫
監 事	前田 和道
地区コミッショナー	澤口 恵
統括副コミッショナー (VS)	松本 民雄
副コミッショナー (BVS)	長尾 秀子
副コミッショナー (CS)	阿部 高久
副コミッショナー (CS)	樋口 映代
副コミッショナー (BS)	菊地 将広

賀 春

本年もよろしくお願い申し上げます

北網地区協議会長	桜 田 正文
北網地区地区委員長	武 田 勉

謹 賀 新 年

十勝地区

協 議 会 長	清 水 誠 一
地 区 委 員 長	渡 邊 伸 夫
地区コミッショナー	田 村 泰 男

謹 賀 新 年

今年も楽しいスカウティングをしましょう

ボーイスカウト札幌第10団 一同

慶春！ 弥栄！！

空知地区

地区協議会長	加藤 定幸
地区委員長	吉野 了乗
地区コミッショナー	吉田 淳一
地区事務長	宮寄 寿弘

2010は北海道連盟の記念すべき年です。
明日に向かって羽ばたきましょう！！

- ◎ボーイスカウト運動95周年
- ◎北海道連盟創立60周年
- 日本ボーイスカウト北海道連盟

迎春 弥栄

日本ボーイスカウト北海道連盟

連盟長	高橋 はるみ	理事長	長岡 正彦
副連盟長	鎌倉 伯男	副理事長	三国 久介

(学識経験者理事)

(地区選出理事)	総 務	高橋 忠義	
函館	今井 憲克	スカウト	北野 和
胆振	佐藤 庄吉	リーダー	池田 君松
石狩	小林 幸治	プロジェクト	菊地 一泰
札幌	北野 義城	広 報	西岡 浩
空知	吉野 了乗	監 事	仙座 猛
留萌	三国 久介	監 事	小川 勉
旭川	高橋 明	事務局長	入部 道之
上川	吉田 肇		
北網	武田 勉		
十勝	渡邊 伸夫		
釧路	田中 卓		

第15回日本ジャンボリー(15NJ) 2010・8・2～8・9 静岡県朝霧高原

事務局より

1. 加盟登録について

平成21年度の北海道連盟加盟登録は12月13日現在、54団、201隊、2,331名、前年度より減293名となっております。

「平成22年度継続登録申請」について、申請用紙等関係書類を各団へ発送いたしましたので、ご確認ください。表彰に関する書類も同封されておりますので、必ず目を通してお早めの手続きをお願いいたします。傷害共済に関する書類につきましては、日本連盟より直送されます。内容が改正されておりますので、ご確認、手続きよろしくをお願いいたします。

2. 富士章受章スカウトの申請について

21年度の富士スカウト章申請は、平成22年1月末日日本連盟必着となります。「富士章面接・認証申請書」の提出は、お早めをお願いいたします。

3. スカウトショップ（需品部）より

平成21年12月30日（水）より平成22年1月7日（水）まで年末年始の休業日とさせていただきます。ご不便をおかけしますが、ご了承ください。

需品の注文はFAXで24時間受付けております。12月28日（月）までに受付けした注文は1月7日（木）発送となります。

4. 15NJの公式ホームページが立ち上がりました。是非ご覧ください。

<http://www.15nj.org>

行事・会議予定

1月9日（土） ～11日（日）	日韓スカウトフォーラム	成田市
1月16日（土） ～17日（日）	第3回全国県連盟コミッショナー会議	NYCセンター
1月17日（日）	第5回 ボーイスカウト講習会	伊達市
1月23日（土） ～24日（日）	WB実修所所長・主任会議	NYCセンター
1月24日（日）	第2回 名誉会議	ボーイスカウト会館
1月30日（土）	第6回 常任理事会	ボーイスカウト会館
1月30日（土）	スカウトクラブ新年のつどい	札幌市中村屋
1月31日（日）	第6回 理事会	ボーイスカウト会館
1月31日（日）	第1回 15NJ派遣団長会議	東京台東区生涯学習センター

斧の響き 138号（平成22年1月1日発行）

発行・印刷 日本ボーイスカウト北海道連盟

〒062-0934 札幌市豊平区平岸4条14丁目3 北海道スカウト会館内

事務局 Tel 011 - 823 - 7121 Fax 011 - 814 - 9377 IP電話 050-3424-2113

E-Mail douren@agate.plala.or.jp 北海道連盟公式HP <http://www.bs-douren.org>

発行責任者 北海道連盟 理事長 長岡 正彦

編集責任者 北海道連盟 広報委員会委員長 西岡 浩